

平成23年度
実施事業

事務事業名 社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	5	犯罪のない安全なまちづくり
小分類	1	防犯対策の推進
主要な施策	2	地域ぐるみの防犯活動の推進
事務事業番号	005	事業開始年度 昭和 53 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	犯罪の防止、罪を犯した人たちへの更生への理解を深め、市民それぞれの立場で力を合わせ明るい社会を築く。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	社会を明るくする運動登別地区推進委員会が行う事業を推進するために負担金を支出し支援する。 ・主な事業 街頭パレード、地域住民との懇談会、ビデオ上映会、公開ケース研究会など 推進委員会は、登別市内の団体（交通安全協会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、保護司会）がそれぞれ事業費を負担して実施している。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	犯罪の防止と罪を犯した人たちへの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	社会を明るくする運動登別地区推進委員会規約

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	180	180	180	180	180
事業費 合計			180	180	180	180	180

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	社会を明るくする運動参加者数 H22・23年度は雨天のためパレード中 止。		目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	360	370			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>社会を明るくする運動の資金は、社会を明るくする運動の推進委員となっている団体（市を含め5団体）で負担金を出し合うことで成り立っている。しかし、登別市の負担割合が一番多いため、負担金を支出しないと社明運動の事業に支障が出てしまう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登別市 18万円 ・登別地区保護司会 8万円 ・登別市社会福祉協議会 8万円 ・登別市民生委員児童委員協議会 3万円 ・登別市交通安全協会 2万円 	<p>負担金を支出したことで、犯罪や非行のない明るい社会を築くための啓蒙・啓発活動を円滑に行うことが出来た。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 全ての市民が、犯罪や非行防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的としており、市が主体的に行うことは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 犯罪や非行のない明るい社会を築いていく事は、市民誰もが願うことであり、そのために進めていく運動であることから必要性は高い。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 事業費は、推進委員会の構成団体の負担で経費を賄っており、その中でパレード等の事業を進めており効率性は高い。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 運動を行うことにより、犯罪予防や罪を犯した人たちの更生に理解を深めてもらうことができ、犯罪や非行のない明るい社会を構築につながるため成果は上がっている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

改善	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	犯罪の凶悪化、低年齢化、複雑化していることから、引き続き啓発活動が必要である。しかし、数年街頭パレードが雨天中止となっており、行事開催の時期や内容についても検討が必要。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

改善	備考	啓発内容の検証、パレード実施の必要性など、今後の事業実施の方向性を検討すること。
----	----	--